



ホルムズ海峡の機雷除去とはイランと戦争すること



ホルムズ海峡

ホルムズ海峡は平均して一日当たり十四隻の原油タンカーが通る。機雷で封鎖されたら困るので機雷除去と安倍自公政権は云う。

誰が機雷を・・・

原子力開発を巡って、欧米諸国が武力をかさにイランに圧力。イスラエルの核兵器には目をつぶりながら。そこで、イランは「欧米に軍事的には勝てなくともホルムズ海峡を機雷で封鎖して長期間困らせるぞ」とアピール。そのイランが軍事作戦で敷設した機雷を除去するとイランと戦争になる。

安倍自公政権は今、機雷除去でイランと戦争すると云っているのだ。

ホルムズ海峡を通る原油タンカーの八割は日本向け。機雷封鎖されても欧米は困らない。欧米は安倍にやらせようということか？

平和な外交努力こそ

イランとは平和を保ち「機雷を敷設するよいうなことはしないで」と外交交渉するのが日本の道ではないか？

なお、イランに圧力をかけ、イランの石油輸出を止めていると、石油が高止まる。それで米国のシェール石油業界は息を吹き返す。イラン問題が解決しないのは、米国大資本には都合が良いからかも知れない。
みなさんはどう思われますか？

八方尾根

長野県白馬村

二〇一五年五月



長野県白馬村の中央を姫川が北流する。川の東岸の丘に立った。

正面の丘にスキーのジャンプ台。その後は八方尾根。尾根を左上に辿ると唐松岳に至る。

右は白馬鑓ヶ岳。左は白馬五竜岳。皆、思い思いの残雪模様を描いている。

手前の田圃は田植えが終わったばかり。水面に北アルプスや、その上の雲が絵のように映る。何と素晴らしいと、思ったのも束の間、一陣の風に、水面がざわついてしまった。

国民にはさっぱり情報が開示されないが、外務省はTPP交渉の真つ最中。

米などの農作物への輸入関税が撤廃されたり、引き下げられたら、このような水田風景を見ることができなくなるのではないだろうか？